

製品名: アルファブチン 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07104**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	ARFIP1
別名	ARFIP1; Arfaptin-1; ADP-ribosylation factor-interacting protein 1
遺伝子 ID	27236.0
SwissProt ID	P53367
免疫原	抗血清はヒト ARFIP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

背景

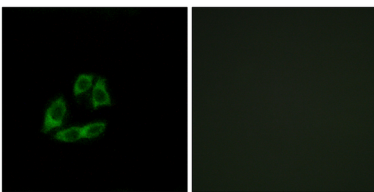
機能:ADP リボシル化因子の推定標的タンパク質。類似性:1つのAHドメインを含む。サブユニット:非ミリスチル化GTP結合型 ARF3 と相互作用するが、GDP結合型 ARF3 および ARF1 とは相互作用しない。ARF5 とはより低い親和性で結合し、ARF6 とはごく

わずかしか親和性がない。、組織特異性:普遍的に発現。肝臓、膵臓、胎盤、骨格筋、心臓に多く存在する。、機能:ADP リボシル化因子の推定標的タンパク質。、類似性:1つのAHドメインを含む。、サブユニット:非ミリスチル化GTP結合型ARF3と相互作用するが、GDP結合型ARF3およびARF1とは相互作用しない。ARF5とはより低い親和性で結合し、ARF6とはごくわずかしか親和性がない。、組織特異性:普遍的に発現。肝臓、膵臓、胎盤、骨格筋、心臓ではより高いレベルにあります。

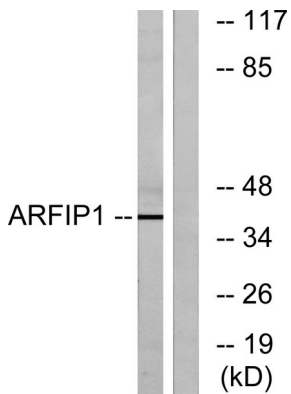
研究分野

-

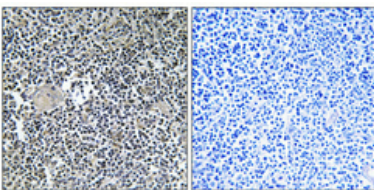
画像データ



ARFIP1抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



ARFIP1抗体を用いたJurkat細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト胸腺の免疫組織化学染色。抗体は1:100(4°C、一晚)に希釈した。抗原賦活化には、高压高温トリスEDTA(pH8.0)を用いた。抗体から得られたネガティブコントロール(右)は、免疫原ペプチドで前処理した。